

財団法人積善会附属 十全総合病院

松尾 嘉禮



- 平成8年11月 インターネット上に病院ホームページ開設
- 平成14年5月 新外来棟1期工事完成, 診療開始
- 平成15年1月 総合診療情報システム稼働(電子カルテ導入)
- 平成15年6月 新外来棟2期工事完成
- 平成16年9月 病床区分届出 一般病床290床, 療養病床60床となる
- 平成17年4月 管理型臨床研修病院として医師卒後臨床研修開始
- 平成19年1月 日本医療機能評価機構の認定病院となる
- 平成19年7月 10対1 一般病棟入院基本料算定

はじめに

愛媛県新居浜市は四国の瀬戸内中央の燧灘に面し、南は石鎚山系の連なる四国山脈に守られて、天災の少ない穏やかな四季のある愛媛第3の都市です。人口約12万6,300人、元禄4年別子銅山の開坑に始まる住友鉱山、住友化学等住友発祥の地でもあり四国一の工業都市でもあります。また秋には四国の3大祭りといわれる勇壮華麗な太鼓祭りも賑やかです。

私たちの十全総合病院は初代院長故松尾正三が昭和31年に当地で内科医院を開設したことから始まり、昭和38年現在地に十全病院開設、昭和44年財団法人設立し、市民病院の無い当市では市民の病院を自負し、救急を主体に地域医療に寄与・拡充して現在に至っております。昭和47年看護学校、昭和54年理学療法士、作業療法士、言語療法士の養成を目的に医療学院を併設、地域に医療関連資源の養成で貢献を目指しています。その他関連の福祉施設は表1の通りです。

沿革

- 昭和31年3月 松尾医院創設
- 昭和38年9月 医療法人十全会十全病院と改称
- 昭和42年8月 新居浜第一外科病院創設
- 昭和44年4月 医療法人十全会十全病院と新居浜第一外科病院を合併財団法人積善会附属十全総合病院となる
- 昭和63年4月 新病棟完成 許可病床数350床となる

病院の概要

診療科目

内科, 精神科, 神経科, 呼吸器科, 胃腸科, 循環器科, 小児科, 外科, 整形外科, 形成外科, 脳神経外科, 小児外科, 皮膚科, 泌尿器科, 産婦人科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 放射線科, リハビリテーション科, 麻酔科, 歯科, 歯科口腔外科, 矯正歯科

表1 関連医療・福祉施設

医療法人 十全会		
十全第二病院 精神科・内科	306床	新居浜市角野新田町
社会福祉法人 三恵会		
介護老人福祉施設 希望の苑	120名	新居浜市西の土居町
ハートランド三恵	50名	新居浜市萩生
身体障害者療護施設 あゆみ苑	20名	新居浜市西の土居町
三恵ホーム	80名	愛媛県東温市
ケアハウス 夢テラス	30名	新居浜市西の土居町
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵	100名	新居浜市萩生
希望の館	100名	愛媛県東温市
児童福祉施設 十全保育園	120名	新居浜市西原町

病床数

一般病床290床，療養病床60床，計350床

職員数

412名（医師31名，歯科医師4名，看護職員226名，他151名）

施設概要

全身用コンピュータ断層撮影装置（CT）

磁気共鳴断層撮影装置（MRI）

乳房X線撮影装置（マンモグラフィ）

超音波内視鏡システム

病理細胞診検査機器

手術室6室（内バイオクリーンルーム1室，デイスージャリー室1室）

内視鏡的レーザー治療用 Nd-YAGレーザー装置

手術顕微鏡2台

腹腔・胸腔鏡下手術システム2台

施設認定

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・日本消化器病学会認定施設
- ・日本消化器内視鏡学会認定指導施設
- ・日本外科学会専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本整形外科学会認定医研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医指定訓練場所
- ・日本循環器病学会専門医研修関連施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本眼科学会専門医研修施設
- ・日本病態栄養学会認定栄養管理・NST実施施設
- ・日本障害者歯科学会臨床研修施設
- ・マンモグラフィ検診制度管理中央委員会施設画像評価委員会マンモ

グラフィ（乳房エックス線写真）
検診施設

病院の特徴

院是を「誠」の医療の推進，と定め病院理念を

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう。

1. 私達は自分の力で伸びて行こう。

1. 私達は私達の規則を尊重しよう。

として，患者様に喜ばれる病院を目指しています。特に平成15年1月1日からは電子カルテの本格導入をし，患者様情報の一元管理を目指し，併せてプライバシー保護と，情報公開をモットーに，カルテの記述を日本語優先としています。電子カルテの導入には日本医療機能評価の受審のため，1患者1カルテを実現する為でもあり，外来診察室の改善と，患者様の呼び出しに名前呼ばないシステムを導入し極力プライバシーの保護を確保しています。

電子カルテの効用は多数科に跨る診療には特に安全管理，検査の重複防止，薬剤重複や禁忌薬の投与防止に役立ちます。ただパソコン操作の上手下手で仕事の能率に差が出てくるのが年配者にはやや辛いところです。

また関連の福祉施設との連携により医療から老健施設，家庭復帰と一連の連携が可能となっています。

リハビリ関連職種の養成学校を持っていることから術後のリハビリ，早期リハビリに力を入れて，在宅への展開を図っているのも当院の特徴と思われます。

近年女性医師の職場復帰に院内保育が必要と言われてはいますが，当院では院内保育のみでなく関連施設に認可保育園を持ち，職員の育児支援をしています。なお外来受診者の一

時保育も行いお母様方の受診やお見舞いにご利用いただいています。

また昭和52年以来春秋2回の院内学会を続け，各職種の研究，業績の発表の機会を持ち，学術誌の発行を続けています。各職種毎の専門学会への発表支援になっています。

各科の活動

各科とも専門分野で地域医療に貢献すべく以下の5項目を基本方針に頑張っています。

- 1) 24時間いつでも治療が受けられる病院を目指す。
- 2) 医師による説明と患者様の選択に基づく医療の推進。
- 3) 患者様のプライバシーの尊重。
- 4) 知識と技術の向上に努め最善の医療をする。
- 5) 優しさ思いやりを大切に心のこもった公平な医療の遂行。

年間手術件数，上部消化管内視鏡検査件数，下部消化管検査件数，を下記に記載いたします。

	平成18年	平成19年
年間手術件数	1,249件	1,217件
上部消化管検査	3,443件	3,575件
下部消化管検査	762件	703件

今後の展望

地域医療に邁進することに尽きませんが，急性期病院で貢献するためにはDPCの導入は早期に解決すべき事と考えており，現在準備中です。

昨今の医療政策はまず先に医療費削減があり，国民の安心，安全が確保されていないように思えます。当市のような地方都市では高齢率はすでに25%を越えており，高齢者の在宅医療への転換は老老介護，あるいは高齢者一人住まいとなり，とても困難な問題となります。私たちの施設では関連に福祉施設を持っていますが，それでも福祉施設への入所

に苦勞する状態です。益々の連携を進めて行かなければと模索中です。

医師の確保も地方病院には大変重要な問題となっています。このところ毎年1名ずつの研修医が研修をしていますが、地方の病院では多数の研修医、後期研修医の確保は困難な事です。抜本的なシステムの変換が待たれます。

アメリカ合衆国では、医学部卒業生の専門家への志望に各科毎に年間

の定数が決められていると聞きますが、この国には各科毎の必要医師数を概算する事も未だ成されていません。医学部、医師会などで纏めて見る事は如何でしょう。

病院紹介の機会を与えていただき余分な事を書きましたが、岡山大学の各医局には日頃から大変お世話になっております。今後も多くの若い医師たちが集い、良医の育つのを期待しております。

私たちは全ての患者様に満足をしていただき、感謝を得られる病院を目指しています。共に働く同志を求めています。宜しく御支援をお願いいたします。

平成20年1月受理
〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1-5
電話：0897-33-1818 FAX：0897-37-2124
E-mail：jyuzen@jyuzen.shikoku.ne.jp
<http://www.shikoku.ne.jp/jyuzen/>